

岡山大学

医学部 医学科

OKAYAMA UNIVERSITY
MEDICAL SCHOOL



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



2021年度 学科案内

挑戦する君たちへ

なぜ医学・医療を学びたいのですか？

どのような医学教育を期待していますか？

医師・医学研究者として、どうキャリアを積みたいですか？

すべてはここから始まります。

未来の医療・医学のリーダーを志すあなたへ



医学を志す皆さんへ

岡山大学医学部は、未来の医学と医療をリードする医療人を育成することにより、人々の健康増進と福祉に貢献することを教育理念としています。医学科の起源は、明治3年(1870年)の岡山藩医学館に始まり、今年(2020年)、創立150周年を迎えました。この150年あまりの期間に、1万2千人以上の医師や多くの医療人を中国四国地域から近畿西部地域にわたる多くの関連病院へ輩出し、地域に支えられ地域に貢献する医学部であり続けています。私たちは、この節目の2020年までの10年間を医学部10年ルネッサンスとして、教育・研究・診療・社会貢献のすべての領域で発展させるべく努力して来ました。既に2013年以降、医歯薬学総合研究科と岡山大学病院を中心として橋渡し研究加速ネットワークプログラム、臨床研究中核拠点事業、がんゲノム医療中核拠点事業に選定されており、中四国地域に根ざした医療中核拠点になっています。医学教育では、60分・4学期制、自主的なアクティブラーニングプログラムや診療参加型臨床実習の拡充など国際水準に合った教育カリキュラムへの改革を推進しています。学部教育から大学院教育と初期研修へのシームレスな接続をpre-ARTおよびARTプログラムで実現しています。未来の医療・医学のリーダーを志す皆さんが入学し、本学部の次の50年を担ってくれることを心待ちにしています。

岡山大学医学部長 浅沼 幹人

医学部医学科のアドミッション・ポリシー (求める人材)

医学部医学科では、将来の医学・医療の担い手として次のような人材を求めています。

- 医師に必要な使命感、豊かな人間性、高い倫理観、コミュニケーション能力を持っている人
- 医学・医療の進歩に対応するために必要な、幅広い基礎的学力と語学力、問題解決能力を持っている人
- 知的探究心が強く、とくに生命科学に対して深い関心を持っている人

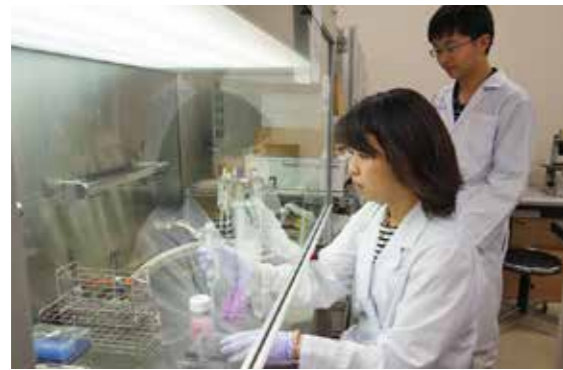
医学部医学科のディプロマ・ポリシー

- **教養** …………… 人間性に富む豊かな教養
医療人・医学研究者としての高い倫理観と幅広い国際的な教養、豊かな人間性を身につけ、多角的・論理的に考え、病める人や立場・職種の異なった人の話を傾聴し共感できる。
- **専門性** …………… 目的につながる専門性
医療人・医学研究者として必要な専門的知識と実践的能力を身につけ、獲得した知識と能力を活かしてグローバルに活躍できる。
- **情報力** …………… 効果的に活用できる情報力
医学的情報を収集し、的確な分析・判断を行い、グローバル社会に向けて適正かつ効果的に情報を活用し、共有できる。
- **行動力** …………… 時代と社会をリードする行動力
高い協調性のもとに世界に通用する専門職業人としての指導力を発揮し、多職種医療チームの一員として責任をもった行動と状況に応じた柔軟な対応ができる。
- **自己実現力** …… 生涯に亘る自己実現力
医学・医療の進歩、社会のニーズに対応して絶えず医療の質の向上に努め、生涯に亘り学び続け、自己の管理・成長を追求できる。

(2020年度中に上記内容で改定予定)

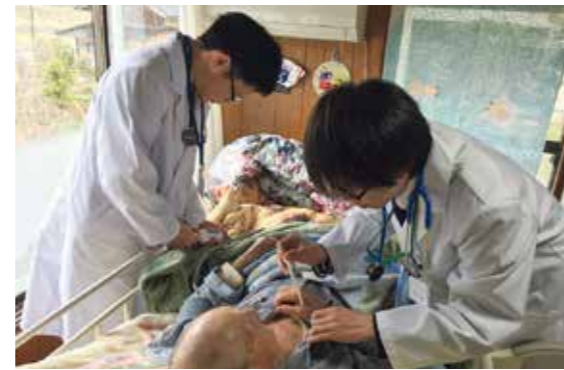
研究の現場で学ぶ

よりよい医療を提供するための推進力は、医学研究です。医学セミナー（1年次）では、少人数学習により、自ら課題を設定し、討論し解決する手法を身につけます。さらに基礎病態演習（3年次）では、実際の症例を分析し、理解して解決方法を提示する力を身につけます。そして、医学研究インターンシップ（3年次）では、自らを医学研究の場におき、その中で問題点を理解し、科学的方法論で解決法を見出す作業に従事します。学内だけでなく国内、海外の著名な研究室を選択でき、学生主導の報告会で発表して体験を共有し、将来の選択の糧とします。



地域の現場で学ぶ

医療は大病院だけで完結するものではなく、一人ひとりの患者さんの背景には退院後の地域での生活があります。患者さんとその家族に寄り添い、家庭・職場・地域の生活の場に根ざした医療を提供する必要があります。そのため、1年次の夏、「医師になりたい」という熱い想いの冷めやらない時期に地域医療の現場で実習を行います。また、2・3年次には、患者中心の医療、医療と福祉の連携など様々な角度から現場で学ぶ一歩進んだ内容を必修の実習として行います。参加した学生からは「モチベーションが高まった。現場の医師の生き方から学んだ。生活に根ざした医療を実感した。」という感想が多く寄せられています。



ベッドサイドの現場で学ぶ

診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）では、学生が診療チームの一員となって、基本的な医学知識・思考法・技能・態度を学習します。ベッドサイド実習から得られることは、教科書からは得られない臨床の現場で行う臨床推論から実技、そして診療態度も含めた将来の医師として必要な総合力に直結します。診療チームのなかで、学生の技量に応じた診療業務が任せられるため、医師になるために必要な臨床力を段階的に学ぶことができます。患者さんのみならず、看護師さんや技師さんなど、現場の診療スタッフから広く学ぶ大切な機会となります。卒業後、研修医として着実に踏み出せるよう、実践力を身につける実習です。

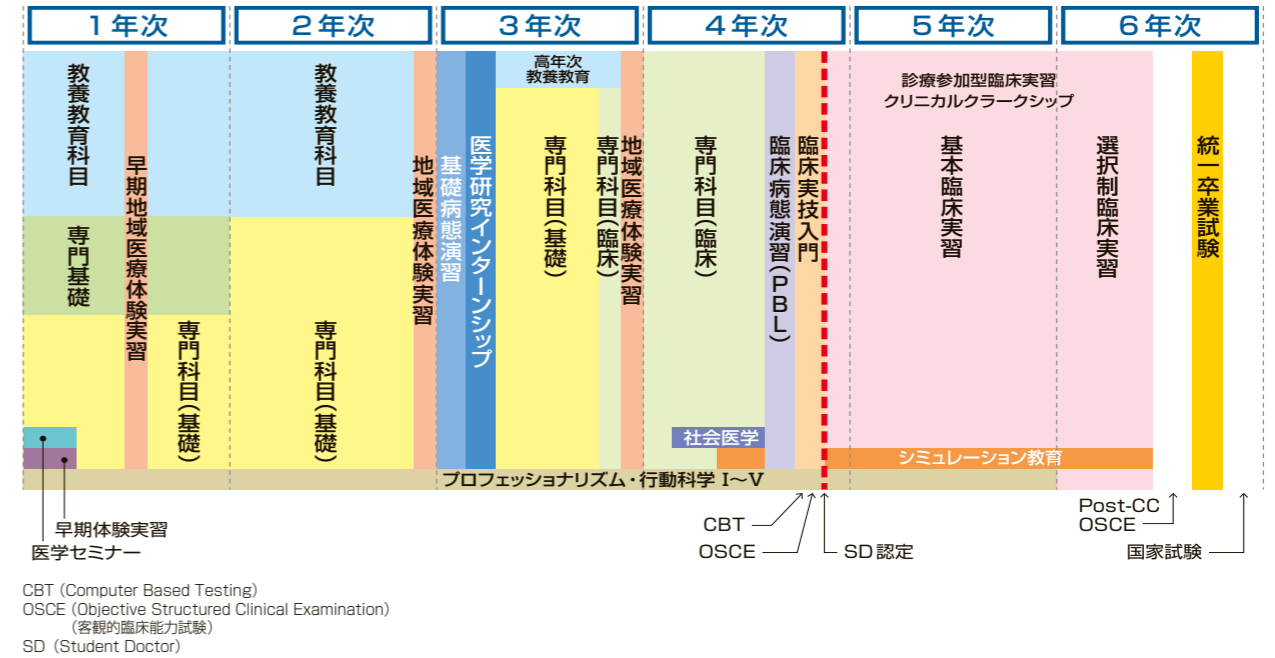


シミュレーションで学ぶ

安全で安心な医療を提供できる医療人の育成には、正しい技術の修得が求められます。岡山大学では、様々な部署でシミュレーターを導入し、診療参加型実習のための教育に活用しています。シミュレーターは様々なものを取り揃えており、実際の患者さんと接したときに困らないように、見て・聞いて・触って・操作できます。1年次では早期体験実習、4年次後半から6年次では臨床実技入門、臨床実習で、シミュレーションを体験できます。効果的で臨場感あふれたシミュレーション医学教育が展開されます。



岡山大学医学部医学科在学中カリキュラム



医学部医学科のカリキュラム・ポリシー

◆ 教育課程の編成

医療人・医学研究者の育成には、科学知識と技術の修得とともに豊かな人間性の獲得が求められます。本学科では、医の倫理に徹し、科学的思考法と高度な医学的知識・技術を体得し、その能力を発揮することで社会的信頼を得る医療人並びに医学研究者を養成することを教育理念とします。この理念を達成するために、卒業までに身につけるべき事項についてディプロマ・ポリシーを定め、医学教育モデル・コア・カリキュラムに提示されている教育内容を包含した6年一貫教育カリキュラムを構築しています。

◆ 人間性に富む豊かな教養【教養】

高い倫理観と幅広い国際的な教養、豊かな人間性を身につけるため、1～2年次の教養教育に加え、専門教育では、1年次の「医学概論」、「臨床医学入門」で医学の概観と根本を学び、「プロフェッショナリズム・行動科学」で、医療人・医学研究者としての職業観を養います。2年次の「医学史」では医学を築いてきた先人に学び、さらに、3年次での「レギュラトリーサイエンス」、4年次での「生命倫理学」、「医事法」では、倫理的・法的観点から医療人・医学研究者に求められる素養を獲得します。さらに、4年次後半からは、診療参加型臨床実習において、相手を理解する傾聴力と相手に寄り添う共感力を身につけます。

◆ 目的につながる専門性【専門性】

専門基礎科目と専門科目の螺旋型カリキュラムにより、1年次に生命科学の基礎を修得し、1年次後半～3年次に正常な人体の構造と機能、様々な病因によって引き起こされる病態、薬物反応等、医療人・医学研究者に必要な専門的知識を段階的に学びます。3年次には、海外を含む学内外の研究室で研究を実体験する「医学研究インターンシップ」で、グローバルな科学的思考力と対応力を育てます。4年次では、臨床医学と社会医学を学修し、4年次後半～6年次では、多職種医療チームの一員として海外臨床機関を含む臨床現場で診療参加型臨床実習を行い、世界に通用する職業的な知識・思考法・技能・態度の基本を実践的に身につけます。

◆ 効果的に活用できる情報力【情報力】

医学的情報を収集・分析的に判断できる能力を養うため、1年次に教養教育科目にて情報リテラシーの基礎を、2年次に「データサイエンス」にてデータリテラシーの基礎を

学修し、3年次では「バイオメディカルデータサイエンス」にて医学に特化した情報の数理解析方法を学びます。また、効果的にグローバルな情報発信ができる能力を身につけるため、実践的な演習科目として、3年次初期に「基礎病態演習」を、4年次後半に「臨床病態演習」を履修し、課題解決型能力を養います。4年次後半～6年次の参加型臨床実習では、疾患を判断・治療するための情報収集・分析を行い、社会的・心理的な背景を考慮した全人的教育により、情報を正しく活用できる力を養います。

◆ 時代と社会をリードする行動力【行動力】

1年次ではテュートリアル方式の授業を行い、自ら問題点を見つけて学習する習慣を身につけます。また、1～3年次に行う地域医療体験実習では、地域医療の現状と問題点を理解し、地域住民や多職種の医療従事者とのコミュニケーションを通して、医療人・医学研究者として高い協調性と社会性を育てます。さらに、4年次後半～6年次の参加型臨床実習では、スチューデントドクターとして多職種医療チームの一員となり、専門職業人としての知識・技術の獲得と、状況に応じた柔軟な対応力を養います。

◆ 生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

1年次早期に医療・福祉の現場を自ら体験し、患者の傍らに居ること、共感的態度を学びます。1年次の「医学セミナー」、3年次の「基礎病態演習」、「医学研究インターンシップ」では、グローバルな社会の課題や問題点、ニーズに対する解決策を自ら考え、実行する力を養います。6年次では、選択制臨床実習による総合的な自己研鑽を通して、生涯にわたり自己の成長を追求できる医療人を育成します。

(2020年度中に上記内容で改定予定)

先輩から



3年次：西村 晏夕眸

受験生の皆さん、将来なりたい医師像、大学でしたいことを考えたとき、どんなことが頭に浮かびますか？大きな夢はあっても、どこから始めていいかわからないという人もいるかもしれません。入学して3年目となりますが、これまでの学生生活を通して、好奇心を持ち、自身の知識・経験の引き出しを増やしていくことが夢を形にしていってくれると思っています。

岡山大学では、早い段階から基礎医学だけでなく、留学や研究、医療倫理・コミュニケーションについてのグループ討議など様々な機会があり、興味のある分野を見つけ、進んでいくことができます。

振り返ってみて、生涯のメンターに出会えたことも自身の成長のきっかけとなりました。私は臨床だけでなく、研究にも興味があることから、専門分野のセミナー参加や、先生方に研究準備をサポートして頂く中で、学ぶことへの思いを強くしています。

岡山大学には医療系ボランティア活動もあり、夏山診療所での活動を行う中で、医師として社会で担う使命を実感しています。

将来に向けた意義ある一歩を踏み出す為に、やりたいと思ったことは言葉にし、行動に移せば、必ず助けてくれる先生がいます。岡山大学で皆さんと一緒に学びましょう！



4年次：高尾 明央

受験生の皆さん、こんにちは。岡山大学の魅力の一つに、優れたカリキュラムがあります。例えば、1年生の頃から大学病院での見学や体験実習を行うことができます。また、グループワークを通じて医師としてどうあるべきなのか、どのように患者さんに接することが大切なのかを学ぶ授業も設けられています。そのほか、3年次の医学研究インターンシップでは、国内や海外の優れた大学や医療機関の研究活動に参加することができます。基礎研究について学ぶことができます。

こうした充実した実習に加え、毎日の講義では最新の医学知識を教わります。内容は豊富ですが、無理のない日程が組まれていて、部活動やその他の活動もしながら、臨床・研究双方の知識をしっかりと学ぶことができます。

このような充実したカリキュラムの中で学んでみませんか。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



5年次：小笠原 菜月

受験生の皆さん、私は岡山大学に入学してから5年目になりました。入学して以来、勉強だけでなく部活動や趣味に一生懸命取り組む先輩方・同級生・後輩、医療の現場で活躍されている先生方から様々な刺激を受け続けています。

1・2年生では基礎医学の勉強だけでなく、大学病院で手術見学や外科の縫合体験など臨床の現場を体験することができ、3年生では医学研究インターンシップで学内だけでなく学外や海外でも医学研究に取り組むことができます。4年生からは本格的に臨床について学び、臨床実習では実際に大学病院の各科を回り勉強します。臨床実習では最新の医療を学ぶことができるのと同時に、日本の医療の最前線で活躍されている先生方に出会うことができます。熱心に指導して頂く中で、自分がどのような医師になりたいか、そのためには何をすることが必要かと考え、多くの、今の自分を見つめ直す非常に充実した時間となっています。また医学の勉強を進める中で、低学年で勉強した基礎医学の知識や基礎医学研究の重要性を感じています。

岡山大学の素晴らしいカリキュラムと環境の中で一緒に学びませんか？皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。



6年次：神野 駿太

受験生の皆さん、こんにちは。現在、僕は入学してから6年が経ちますが、いろいろな経験ができました。特に印象に残っているのは病院実習です。岡山大学の実習では学生も患者さんを受け持ち、毎日会いに行くとカルテを書くのですが、現場では「学生さん」ではなく「医療チームの一員」としてよく扱われます。座学に加え、実技の勉強もあり、大変ですが、その分、患者さんと向き合せて頂き、多くのことを学ぶことができます。また、実習ではやる気を見せていけば、色々なチャンスも手に入ります。僕は先生との出会いにも恵まれ、全国学会での発表の機会も何度か頂きましたが、これは岡山大学の先生方が学生にきちんと向き合ってくくださるからこそだと思います。

部活動やアルバイトも6年間続けることができ、勉強以外でも様々なことで、毎日を充実させることができました。文武両道は大変だと思いますが、ともに夢を追いかける同級生や先輩・後輩がたくさんいるのも、岡山大学の良いところだと思います。

「一期一会」。岡山大学でしか見つけることができない、皆さんの人生を変える出会いがあると思います。皆さんと一緒に学べることを心から楽しみにしています！

課外活動の紹介

皆さんが目指す医学・医療の道では、いかなる方向に進むにしても、学生時代、課外活動を通して、自ら作り出す楽しみ、何かの役割を担う張り合い、仲間と共に成し遂げる喜びを、身をもって知ることが、医療のプロとして成長するために、何よりも大切です。部活動を通して、人を思いやり、人に役立つことに意義を感じる人となるよう成長してください。

鹿田キャンパスには、多くの体育系、文化系、医療系のサークル(部)があります。岡山市の中心にありながら、グラウンド、テニスコート、プール、体育館、武道場、弓道場を備え、文化系サークル(部)も含めてのクラブ棟もあり、大変恵まれた環境にあります。



鹿田弦楽アンサンブルanimato

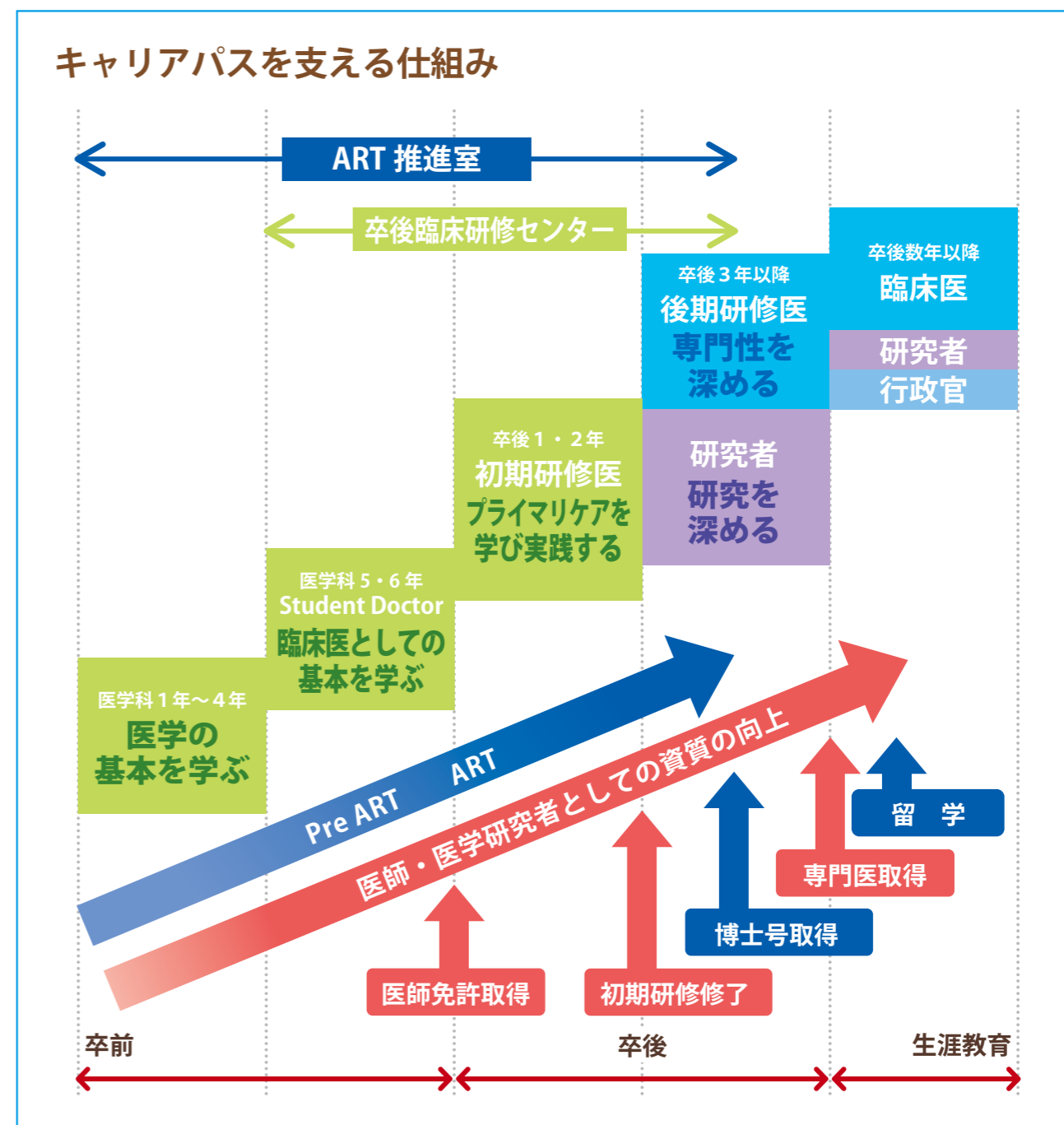


バドミントン部



ゴルフ部

卒後キャリアパス



岡山大学医学部医学科を卒業後はキャリアを様々な形でサポートし、医師としてのキャリア形成をシームレスに(切れ目なく)、セレクトティブに(個々に合わせて)支えます。まず、卒後臨床研修センターでは、学生から研修医、レジデントという医師への入り口と最初のステップをサポートします。岡山大学病院では約80名の初期研修医が、未来の医療界のリーダーになるべく臨床研修を行っています。岡山大学病院研修プログラムでは、100以上の病院・施設を組み合わせた多様性のある研修が可能であり、プライマリケア重視あるいは、専門研修の早期スタートなど、各研修医のニーズに合わせた

完全オーダーメイド研修を提供しています。大学院医歯薬学総合研究科では全国初の試みであるARTプログラムコースで世界に羽ばたくPhysician Scientistsを育てています。また、NPO岡山医師研修支援機構は、情報提供やセミナーなどを通じて学生から研修医まで幅広いサポートを行っています。

ARTプログラム: 先端医学修練(Advanced Research Training)プログラム。研修1年目からの大学院スタートが可能なコース。学生のときから大学院の講義を科目履修することも可能です(PreART)。



ACCESS

【JR岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル】

▶3番乗り場から

- [22]系統「岡山ろうさい病院」行き
- [52]系統「大東」行き
- [62]系統「岡南飛行場」行き
- ▶▶ 「大学病院入口」で下車。

▶4番乗り場から

- [2H]系統「大学病院」行き
- ▶▶ 「大学病院(構内)」で下車。
- [12]系統「岡南営業所」行き
- ▶▶ 「大学病院入口」で下車。

岡山大学は、医学・医療を志し次世代を担うあなたを待っています。



学 章

岡山大学 医学部 医学科

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

お問合せ窓口：岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科等学務課

教務グループ医学部医学科担当

Tel. 086-235-7020・7021

E-mail kdd7020@adm.okayama-u.ac.jp

編 集：岡山大学 医学部医学科入試委員会・教務委員会

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/medicine/index.html>

岡山大学医学部医学科

検索